

2TG 亀有マスター292度カムシャフト



304° 320° をトータル性能で上回る
292度スーパープロフィール！

304度320度に勝るとも劣らないピークパワーを持ちながら、従来は犠牲にしていた中低速域を大幅に改善した亀有独自のスーパープロフィール採用！
限りなく高精度な機械加工を追求し、安定した品質を維持管理するのは勿論、アイドルの安定性、タペットノイズ、低燃費等 あらゆる課題を考慮しつつ、あくまでトータル性能をコンセプトに開発した究極のカムシャフトです。

この度は、亀有オリジナルレース用部品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
カムシャフトの組み付けに関しては、下記の組み付け要領をよくお読み頂き不明のてんがございましたら是非お問い合わせ下さい。

「カムシャフトセッティング要領」

①バルブスプリングの選択

- カムシャフトはスプリングとのマッチングが重要です。荷重やバルブプロフィールの特性上マッチングの良い kameari 10000rpm対応バルブスプリングをご使用ください。

(バルブ突き出し量の関係でEX側に別売の1mmスプリングワッシャーを追加すると、より性能がでます。)

②バルブステム突き出し量の変更 (スプリングシート座面からバルブステムエンドまでの距離) ※スプリングワッシャーは含めません。

- ノーマルヘッドのバルブステム突き出し量の純正値は、41mmです。バルブ同士の干渉を防ぐ為にシートカットによって突き出し量を変更する必要があります。

推奨ステム突き出し量

純正バルブの場合 41,5mm-0+0.2以内 (IN,EX共)

亀有ビックバルブの場合 41,8mm-0+0.2以内 (IN,EX共)

③バルブリセスのチェック

- 全閉時のバルブ位置から、ピストン上死点のリセス面までの間隔を測定して下さい。

IN:6,5mm EX:6,8mm 以上の間隔が保たれていればOKです。間隔不足の場合は、バルブリセス加工やシートカット又は、ヘッドガスケットの厚み変更などの対策が必要です。

④バルブクリアランス調整

- クリアランス調整時は、カム山を一ヶ所づつ上に向けてから調整を行ってください。

シツクネスゲージは軽く抜き差しできる程度に調整してください。

亀有タペットシムは、ご希望厚みに対し-0+0.05mm以内の公差でご用意できます。

冷間
0,28 ~ 0,30mm (IN,EX共)

⑤バルブタイミングの調整

	カムリフト	バルブクリアランス	開(1mmリフト)	閉(1mmリフト)	中心角
IN	11.7mm	0,28~0.30	上死点前 25° ~	下死点后 45°	100~101度
EX	11.7mm	0,28~0.30	下死点前 48° ~	上死点后 22°	103~102度

ご注意

- 本品は、他社製のバルブスプリングとの組み合わせで使用されますと、本来の性能が出ない事があります。
- 本品は、レース専用部品のため、一般公道での使用はできません。又、本品に関する事故やトラブル等のクレームには一切お受けできませんので、予めご了承ください。
- 亀有マスタープロフィールは、当社独自のコンセプトによって開発されたものです。無断でコピーや販売などを行うと著作権違反に問われますのでご注意ください。



販売元 埼玉県八潮市緑町 3-1-16
株式会社 亀有エンジンワークス

TEL 0489-98-2323

FAX 0489-97-9085